

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報

2019.7.15 No.355



CVオスプレイ訓練激化 延べ9機が住宅地に銃口を向けた



7月に入って、CV22Bオスプレイの訓練がさらに激しくなりました。横田基地では離着陸訓練、ホバリングなどが激しく行われ、それにともない基地周辺の旋回飛行も多く、急旋回訓練もしました。

機関銃の銃口を住宅地に向けての飛行も、3日が1機、8、9、10、11日は4日間連続して2機がやっており、延べ9機もです。

2018年6月29日から2019年6月27日までの約1年間で延べ31回でしたから、7月に入ってからの多さは、際だっています。

7月1日に、CV-22Bオスプレイを運用する第21特殊作戦中隊と第753特殊作戦航空機整備中隊が正式に発足しましたが、その影響でしょうか。

米軍のやりたい放題の訓練は我慢の限界を超えるものです。我慢やあきらめはやめて、この実態を多くの人々に知らせ、「オスプレイ帰れ」の声を上げていきましょう!!



米軍北部訓練場「N1」地区出入り口前を行軍する武装米兵＝10日、東村高江（ヘリパッドいらない住民の会）提供

【東】東村高江の米軍北部訓練場「N1」地区出入り口前で10日正午ごろ、銃で武装した米兵6人が行軍しているのを、ヘリパッド建設に反対する住民らが確認した。

目撃した「ヘリパッドいらない住民の会」の儀保昇さん（64）によると、迷彩服を着た米兵は小走りや南向けに行軍したという。儀保さんは「長い銃を持っているので驚いた。県道での行軍はおかしいのではないかと話した。」

また同日午前、同地区出入り口付近にある住民側のテントなどに、防衛局による撤去通知文が置かれていたのが見つかった。16日午後5時までの撤去を求めて

米兵6人県道を行軍 北部訓練場近く銃を所持

20190711 沖縄タイムス

日本政府は何も判断できないのか!?

7月、横田のC130で 陸自第1空てい団100人が降下訓練

米空軍機からの空挺降下訓練が、日出生台演習場で、7月16日(火)と17日(水)に行われます。陸上自衛隊第1空挺団約100人、米軍横田基地所属のC-130輸送機2機が参加します。



降下する隊員（アメリカにて）



米軍横田基地前下市民団体や住民らから要請を聞く志位和夫委員長(右) 11日、東京都練馬町

横田基地 返還させ日本の空守ろう

志位委員長、住民と懇談

日本共産党の志位和夫委員長は12日、在日米軍横田基地(東京都多摩地域)を視察し、同基地の撤去を求める地元住民団体のメンバーと懇談しました。

「横田基地の撤去を求める西多摩の会」代表の高橋美枝子さん(77)は、基地から3キロの範囲に多数の小中学校があり、落下物の事故を住民が懸念している」と紹介。横田基地配備の空軍特殊作戦

機CV22オスプレイの訓練では「爆撃機が飛ぶようなすごい騒音で家が揺れる。住民は怒っている」と切実に語りました。志位氏は「住宅に囲まれた土地や空を米軍が占有していてとんでもない。首都圏に海外の巨大基地を置く国は他にない。横田基地の状態です」と述べました。

高橋さんは、CV22が機銃の銃口を下に向けたまま飛行する訓練が増加し、7月には9機も確認したと紹介。「住民を標的にするような訓練で絶対に許せない。何とかしてほしい」と言を繰り返しました。志位氏は「輸送機中心だった横田基地は、CV22の配備で海外に殴りこむ出撃拠点に変わりました。横田基地を返還させ、オスプレイは日本の空から出て行ってもらいましょう」と述べると、高橋さんは「よろしく

お願いします。期待しています」と語りました。

「憲法9条は守ってほしい」という高橋さんに対し、志位氏は「9条改定は自衛隊を海外で戦争できるようにし、米軍を守るためのものです。何としても阻止しましょう」と応じました。

日本共産党の志位和夫委員長、横田基地を視察。「首都圏に海外の巨大基地を置く国は他にない。植民地の状態です。」と述べました。



- 7月20日、2019国民平和大行進、福生公園集結集会
- 7月21日、第124回横田基地撤去を求める座り込み
- 7月22日、オスプレイはいらない、スタンディング